

2022(令和4)年度 伊賀市下水道事業の主な事業（実施成果）

伊賀市下水道事業経営戦略等に定められた、伊賀市の魅力アップのため、「下水道施設を整備することにより、来たい・住みたい・住み続けたい伊賀市」の実現に向けての取り組みについて、基本方針とそれに基づく主要施策を推進するための主な事業を紹介します。



【基本方針】 持続可能な下水道事業

【主要施策】 安全で安定した下水道事業の持続

- ・ 処理場の改築更新(下水道ストックマネジメント)
- ・ 処理場の耐震補強(総合地震対策)

ストックマネジメント事業・総合地震対策事業

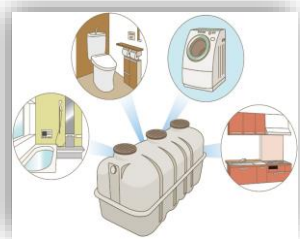
【実施計画】

ストックマネジメント計画に基づいて、柘植浄化センターの機械電気設備の改築更新を行います。また、耐震診断の結果に基づいて、耐震補強工事を合わせて行います。

【実施成果】

ストックマネジメント計画に基づいて、柘植浄化センターの機械電気設備の改築更新に着手しました。また、耐震診断の結果に基づいて、耐震補強工事を合わせて着手しています。

担当課：下水道課



【基本方針】 環境への貢献

【主要施策】 生活環境の保全や水環境の再生

- ・ 未普及地域の解消
- ・ 水洗化率（下水道接続率）の向上

合併処理浄化槽の整備

【実施計画】

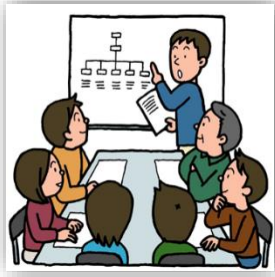
生活排水による公共用水域の水質汚濁防止及び、し尿の適切な処理による生活環境の保全対策として、合併処理浄化槽を設置しようとする方に補助金を交付します。

【実施成果】

2022（令和4）年度において、汲取り便所から合併処理浄化槽への切り替え36件、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替え26件、新築家屋への合併処理浄化槽の設置99件、計161件に補助金を交付しました。

2023（令和5）年3月末時点における水洗化率は、約78.8%です。

担当課：下水道課



【基本方針】 経営の効率化

【主要施策】 経営効率化の推進

- 事業経営の適正化
- 下水道使用料の適正化

下水道使用料、受益者負担金（分担金）の見直し

【実施計画】

将来にわたり下水道事業の健全な経営を推進していくため、伊賀市下水道事業経営検討委員会からの答申を踏まえた使用料の見直しを行います。また、受益者負担金（分担金）についても、現状や今後の見通し等を踏まえた見直しを行います。

【実施成果】

下水道使用料、受益者負担金（分担金）の見直しに伴い、伊賀市下水道条例等関係条例を改正しました。下水道使用料については2023（令和5）年2月1日から、受益者負担金（分担金）については2022（令和4）年7月1日から改定を行いました。

担当課：経営企画課



【基本方針】 経営の効率化

【主要施策】 経営効率化の推進

- 業務の効率化
- 民間委託の推進

包括的民間委託の導入検討

【実施計画】

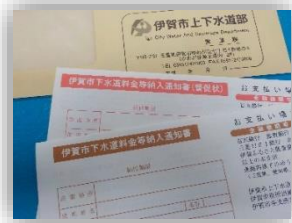
民間のノウハウや創意工夫を活かした業務の効率化とコスト削減に取り組んでいきます。水道業務と合わせて施設の維持管理、料金事務、窓口業務等を含めた包括的民間委託の導入を検討します。（令和5年度まで）

【実施成果】

市民サービスの向上の観点から、業務の効率化、コスト縮減などを目的として、2024（令和6）年度より水道業務と合わせて施設の維持管理、料金事務、窓口業務を含めた包括的民間委託の導入を目指し、検討を行いました。

現状実施している委託業務に直営で行っている業務や水道業務を合わせ、最も効果が高い事業スキームを精査し、発注仕様の検討と並行して、導入効果の検証を図りました。

担当課：経営企画課



【基本方針】経営の効率化

【主要施策】経営効率化の推進

- ・事業経営の適正化
- ・滞納整理

未納料金対策事業

【実施計画】

徴収強化月間の設定や個別相談を実施することで、未納額の縮減や新たな滞納者の発生抑止に努めます。また、市収税課と連携を強化し、債権回収事務の移管を行うなど効率的な未納金の回収を図ります。

【実施成果】

初回の納付書発送時に口座振替依頼書を同封し、口座振替による収納率の向上に努めました。

納期限到来後、早期に督促状を発送し、滞納整理集中月間には催告書にて納付を促しました。

一括納入が困難な方や高額滞納者には、分納計画を提出させるなど、滞納額の縮減を図りました。

市収税課への移管を行い、差押さえを行うなど、債権回収に取り組みました。

上下水道料金システムの更新に伴い、上下水道使用者情報を一元管理することにより、債権回収の情報共有を図るとともに、コンビニ収納に対応した納付書発行を可能にし、支払方法の選択肢を増やすことができました。

担当課：営業課